

記者発表 (発表)・資料配付)				
月／日 (曜日)	事務所等名	電話	発表者(担当者)	配布先
4／25 (火)	兵庫県立農林水産技術総合センター農業大学校	0790- 47-2441	校長 小舟 博文 (副校長 高松 雅一)	北播磨県民局 県政記者クラブ

令和5年度 新規就農者等育成研修(実践研修)の受講者の募集

兵庫県内で本格的に就農をめざす方が、農業大学校において1年間農作物の栽培管理から販売までを自ら行うことで、農業経営者としての実践力を高め、円滑な就農と早期の経営確立を目指す研修を行います。下記により受講希望者の募集を行います。

記

- 1 **研修期間** 令和5年9月1日(金)～令和6年8月31日(土) [1年間]
- 2 **研修生の要件**
 - (1) 本県の農業振興に熱意を持つ身体強健な者で概ね50歳以下の者
 - (2) 近い将来、兵庫県内において就農を希望し、かつ野菜又は花き栽培での就農プランを持つ者
 - (3) 一定以上の農業に関する知識を持ち、兵庫県の平均以上の農業経営(所得)を目指す意欲と実行力を有する者
- 3 **研修方法**
 - (1) 研修生自ら栽培計画を作成し、パイプハウス2棟(約500㎡)を利用し、計画に基づき野菜・花きの栽培から販売までの農業を実践する。
 - (2) 生産物は研修生に帰属し、自ら販路開拓を行い、販売戦略、経営管理などの農業経営の実践力を高める。
 - (3) 栽培、労務、販売、経費などの記録と結果の検討を行い、就農計画を樹立する。
 - (4) ICT技術などを活用し、先進的な農業を実践している農業者の講義や現地指導などによる支援とともに、就農に向けた定期的な進捗報告会を経て、研修終了後の円滑な就農につなげる。
- 4 **研修経費**

種苗、農薬、肥料、その他資材等の購入費、暖房機等に係る燃料費、通信費(ICT対応ハウス使用のみ)、出荷・販売費等の費用は研修生が負担する。パイプハウスの使用料や機械等にかかる光熱水費(暖房機等の燃料費を除く)は無償である。

5 応募方法

本校ホームページからダウンロードした受講申込書に記入し、返信用封筒を同封の上、農業大学校研修課まで郵送にて申込みください。

(1) 募集期間：令和5年5月1日（月）～ 5月31日（水）

(2) 募集定員：10名程度（但し、聴講生5名程度（※）を含む）

<※聴講生は、研修生の応募要件を概ね満たし、研修期間通じて週1～2回程度受講する者>

6 その他

(1) 研修生の就農状況

平成7年から令和3年度までに89名が当研修を受講（うち71名が就農；就農率79.8%）。

(2) 研修施設について

就農準備資金の対象研修施設

園芸ハウス10棟（ICT対応、高設、養液、土耕等）

(3) 宿泊施設の利用

農業大学校研修宿泊棟で宿泊が可能。宿泊室使用料は1人1泊につき1,500円（ただし、8日以上連続利用は8日目より1泊550円）。

7 問い合わせ先

兵庫県立農業大学校 研修課（兵庫県立農林水産技術総合センター内）

〒679-0104 加西市常吉町1256-4 電話：(0790)47-2445 FAX：(0790)47-1772

令和5年度 新規就農者等育成研修(実践研修) 受講者募集要項

兵庫県内で新たに就農を希望する者に対して、兵庫県立農業大学校（以下「農業大学校」という。）の施設などを活用して、農業経営者としての実践力を習得させるための新規就農者など育成研修（実践研修）における研修受講者の募集について定める。

1 募集定員

10名程度（但し、聴講生5名程度（※）を含む）

〔 ※聴講生は、研修生の応募要件を概ね満たし、研修期間通じて週1～2回程度受講する者、
詳しくは、別紙「新規就農者など育成研修の聴講生研修制度について」を参照 〕

2 研修期間

令和5年9月1日（金）から令和6年8月31日（土）までの1年間
（開講式：令和5年9月1日（金））

3 研修生の応募要件

- (1) 兵庫県の農業振興に熱意を持つ身体強健な者で概ね50歳以下の者
- (2) 近い将来、兵庫県内において就農を希望し、かつ野菜栽培での就農のプランを持つ者
- (3) 一定以上の農業に関する知識を持ち、兵庫県の平均以上の農業経営（所得）を目指す意欲と実行力を有する者

4 研修方法

- (1) 研修生自ら研修計画を作成し、農業大学校の研修ハウス（園芸ハウス2棟約500㎡）を利用し、計画に基づき野菜、花きの栽培から販売まで農業経営を模擬的に実践する。
- (2) 生産物は研修生に帰属し、自ら販路開拓を行い、販売戦略、経営管理などの農業経営の実践力を高める。
- (3) 栽培、労務、販売、経費などの記録と結果の検討を行い、就農計画を作成する。
- (4) ICT技術などを活用し、先進的な農業を実践している農業者の講義や現地指導などによる支援とともに就農に向けた進捗報告会を経て、研修終了後の円滑な就農につなげる。

5 研修経費

- (1) 研修生の自己負担分は、栽培に係る種苗、農薬、肥料、その他資材費（消耗品、個人的に使用する資材、道具類）、暖房機や炭酸ガス発生装置に係る燃料費、通信費（ICT対応ハウス）、出荷・販売経費などの費用を負担する。
- (2) 農業大学校の負担分は、貸与するハウスや機械などにかかる光熱水費（暖房機などの燃料費を除く）、維持管理費である。

6 主な研修許可条件

- (1) 研修生は、研修期間中、自己の責任において作物、施設などの管理をすること。
- (2) 閉庁日の研修においては、農業機械の使用は認めない。
- (3) 研修期間中におけるけがなどは、自己の責任において処理することとし、農業大学校への補償、賠償請求はできないものとする。また、傷害保険に必ず加入しなければならない。
- (4) 故意または過失により施設などを損壊した場合は、自己の責任において原状に回復し、又は生じた損害を賠償すること。
- (5) 研修期間が終了したとき又は研修許可が取り消されたときは、直ちに施設などを原状に回復すること（ただし、ほ場への投下資材はこの限りとしない。）。
- (6) 施設などを第三者に転貸し、又はその使用の権利を第三者に譲渡してはならない。

7 応募方法

- (1) 募集期間 令和5年5月1日（月）～ 5月31日（水）（必着）
- (2) 申込書類
ア 申込書（別紙様式）
イ 返信用封筒を同封すること。（応募者の住所、氏名を記入し84円切手を貼付したもの）
- (3) 申込先
兵庫県立農業大学校 研修課
〒679-0104 加西市常吉町1256-4
TEL (0790) 47-2445 FAX (0790) 47-1772

8 選考

受講者選考委員会（6月開催予定）において面接で受講者を選考する。

(様式)

令和5年度 新規就農者等育成研修(実践研修)受講申込書

令和 年 月 日

兵庫県立農業大学校長 様

下記により、令和5年度新規就農者等育成研修(実践研修)の受講を申し込みます。

主とする研修希望部門		野菜・花き		写真	
(フリガナ)					
氏名					
生年月日		年齢	性別		
年 月 日		歳 (R5.9.1現在)	男・女		
現住所 (フリガナ)			本籍		
〒 -			都道府県		
電 話 - -		メールアドレス			
携帯電話 - -					
職 業 1 会社員 2 自営業 3 学生 4 パート・アルバイト 5 無職 6 その他 ()					
最終学歴 中学校 年 月 卒業・中退 高等学校 学部 学科) 大学 (
職	自		至		
	年	月	年	月	
歴					
農					
業					
研	取得		資格・免許等の内容		
	年	月			
修					
歴					

家族氏名	続柄	年齢	職業・勤務先	同居・別居	就農に対する家族の理解・支援の見込み

研修受講の動機・抱負等	1 研修受講の動機	
	2 研修で栽培したい作物（栽培プラン）	
	3 就農への意欲	
	◇就農して経営したい作目と面積	◇5年後の目標所得 円
	◇就農希望地（理由）	
4 その他（農業経験の有無等）		

研修受講の形態	通学 ・ 宿泊棟利用	
健康状態	① 車の運転上で医師からの指示（注意）事項があるか その指示又は注意事項の内容（ ）	ある ・ ない
	② 農作業上で医師からの指示（注意）事項があるか その指示又は注意事項の内容（ ）	ある ・ ない

農地の保有状況

	自作地	借地	合計	備考
農地（田）	a	a	a	
農地（畑）	a	a	a	
その他	a	a	a	

* 個人情報の取扱いについては厳重に管理し、受講者の就農支援のためのみに使用します。

令和5年度 新規就農者等育成研修の聴講生研修制度について

令和5年4月
兵庫県立農業大学校

令和5年度新規就農者等育成研修では、実践研修生のほかに聴講生を募集します。
将来就農を考えている方を対象に、実践研修で行う専門家の講習や現地指導に参加いただき、実践的な技術の習得や情報交換を行ない就農につなげます。

1. 聴講生研修制度の概要

	内 容
募 集 要 件	(1)兵庫県の農業振興に熱意を持つ身体強健な者で概ね50歳以下の者 (2)近い将来、兵庫県内において就農を希望し、かつ、野菜又は花き栽培での就農のプランを持つ者 (3)一定以上の農業に関する知識を持ち、兵庫県の平均以上の農業経営(所得)を目指す意欲と実行力を有する者
募 集 期 間	令和5年5月1日(月)～5月31日(水)
研 修 期 間	令和5年9月～令和6年3月
場 所	兵庫県立農業大学校 実践研修のハウス等
内 容	実践研修の講習・現地指導等へ参加し、実践的な技術を習得する。 実践研修生が栽培するいちごやトマトについて、先進農家等から作物の生育状況などに応じた管理のポイントなどの現地指導や講習を実践研修生と共に受ける。 (開催時期) いちご:月2回程度 トマト:月2回程度 (予定講師) いちご:篠田重一氏 トマト:大西昇氏 垣内努氏(研修指導員) ※開催内容や講師は、変更になる場合がありますのでご了承ください。
定 員	5名程度
費 用	無料

2. 聴講生の申込方法

・聴講生を希望する方は、別紙様式の聴講生申込書を農業大学校へ持参もしくは郵送してください。

(1) 募集期間 令和5年5月1日(月)～ 5月31日(水)

(2) 申込書類

令和5年度新規就農者等育成研修聴講生申込書

(3) 申込先

兵庫県立農業大学校 研修課

〒679-0104 加西市常吉町1256-4

TEL(0790)47-2445 FAX(0790)47-1772

3. その他

- ・聴講生は、「就農準備資金」の対象になりません。
- ・農作業を伴うため事故に備えて、傷害保険等には各自で加入してください。研修中の事故について、当校は一切の責任を負いません。
- ・研修の日時や内容等の詳細については、別途連絡します。

令和5年度 新規就農者等育成研修聴講生申込書

記入年月日 令和 年 月 日

ふりがな			職 業	
氏名 生年月日	S・H	年 月 日生 (歳)	出身地	
住所	〒 都道府県			
連絡先 電話番号	TEL		FAX	
	携帯		E-Mail	

農業経験および志望動機

農業経験	<input type="checkbox"/> 全くない <input type="checkbox"/> 農業体験（短期研修）程度 <input type="checkbox"/> 農家、法人等で農業に従事 <input type="checkbox"/> 自家農家 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
志望動機	<input type="checkbox"/> 本格的に園芸で就農したい <input type="checkbox"/> 農業法人で働きたい <input type="checkbox"/> 田舎暮らしがしたい <input type="checkbox"/> その他（ ）			
就農予定	就農希望時期	令和 年 月頃	経営品目	
	就農形態の希望	<input type="checkbox"/> 独立自営で就農 <input type="checkbox"/> 法人経営を開始 <input type="checkbox"/> 法人従業員		
	就農予定地			

最終学歴および職歴・研修実習歴 (職歴・農業研修歴は、省略せずに記載してください。)

	年	月	最終学歴および職歴・農業研修実習歴
最終学歴			
職歴・ 農業 研修歴			

※ 個人情報の取り扱いについては厳重に管理し、受講者の就農支援のためのみに使用します。